

平成 30 年 11 月 「月 報」

1 はじめに

10月3日、第4次安倍内閣改造に伴い新防衛大臣に岩屋毅氏（61歳、大分出身）が就任されました。岩屋大臣は、訓示の中で「宇宙、サイバー、電磁波といった新たな領域での優位性の確保は重要な課題であり、次期防衛計画大綱や中期防の策定にあたっては、従来の延長戦上にはない真の防衛力を定める必要がある」と述べられました。



儀仗を受ける岩屋防衛大臣

また、防衛副大臣に原田憲治氏（70）、大臣政務官には、鈴木貴子氏（32）と山田宏氏（60）が就任されました。更に香川県家族会会の平井卓也会長（60）が、情報通信技術（IT）政策担当大臣、クールジャパン戦略・知的財産戦略・科学技術政策・宇宙政策担当大臣として初入閣されました。

2 防衛省・自衛隊の活動

(1) 平成 30 年度自衛隊殉職隊員追悼式



追悼の辞を述べる安倍総理

平成 30 年度自衛隊殉職隊員追悼式が 10 月 13 日に市ヶ谷駐屯地で行われ、安倍総理、岩屋防衛大臣をはじめ殉職隊員のご遺族と防衛省関係者など約 370 人が参加してしめやかに執り行われました。今年、新たに 30 柱（陸：8、海：15、空：6、その他：1）が合祀されました。安倍総理は「強い使命感と責任感をもって、職務の遂行に全身全霊を捧げられた皆様は、この国の誇りです。私たちは、その雄姿と名前を永遠に刻み付けて参ります。その尊い犠牲を無にすることなく、ご意志を受け継ぎ、国民の命と平和な暮らしを断固として守り抜いていきます。」と追悼の辞を述べました。

この追悼式に本会を代表して伊藤会長が参列しました。

(2) 平成 30 年度防衛大臣感謝状贈呈式

自衛隊記念日中央行事の一つで、防衛基盤の育成や隊員募集・就職援護などに貢献した団体・個人を表彰する平成 30 年度防衛大臣感謝状贈呈式が 10 月 13 日、グランドヒル市ヶ谷で行われ、次の 3 名の本会会員が自衛官募集功労で表彰されました。

○井上 勉 様 大阪府自衛隊家族会京橋地区会長

○桑島 保夫 様 道北自衛隊家族会会長

○鈴木 信一 様 東京都自衛隊家族会 東久留米市自衛隊家族会会員

(3) 平成 30 年度自衛隊観閲式

平成30年度自衛隊観閲式が10月14日、安倍晋三内閣総理大臣を観閲官として、朝霞訓練場において挙行されました。今年の観閲式は、本年3月に新編した陸上総隊をはじめとする新体制下での初の観閲式であり、水陸機動団、即応機動連隊も参加して水陸両用車や16式機動戦闘車が迫力ある行進を披露し、最後に米海兵隊の祝賀飛行及び祝賀行進が行われました。

安倍総理大臣は観閲部隊を前に訓示し、「全国25万人の隊員一人ひとりの高い使命感、強い責任感によって、日本、そして日本国民は守られている。諸君の崇高なる覚悟に、改めて心から敬意を表します」と述べ、また隊員家族へは「隊員が高い使命感を持って任務を遂行していく、その拠り所はご家族の皆様には他ならない。隊員として送り出して頂いていることに感謝申し上げます」と敬意を表しました。



水陸両用車(AAV)の観閲行進

3 家族会の活動

(1) 平成30年度防衛セミナーの協賛

10月4日(木)、(公社)隊友会が主催し、本会も協賛している平成30年度防衛セミナーが、次の講師を迎えて新宿(損保ジャパン日本興亜本社ビル)で行われ、伊藤会長はじめ東京近郊の本会会員約25名が熱心に聴講しました。

ア 三浦瑠麗^{るり}：東京大学政策ビジョン研究センター講師
「安全保障環境の変化とわが国の進路」

イ 富坂 聰^{さとし}：ジャーナリスト、拓殖大学教授
「習近平政権の今後の行方」



セミナーの様子

(2) 第33次派遣海賊対処行動航空隊への慰問・激励

対馬青森県家族会会長は、10月5日(金)第33次派遣海賊対処行動航空部隊(隊司令栗下2等海佐)に対する本会からの慰問・激励を担当し、無事の帰国をお祈りしました。



隊司令に激励品を贈呈する対馬会長

(3) インドネシア国際緊急援助隊への慰問・激励

堀川愛知県家族会会長は、10月16日(火)、インドネシア国際緊急援助隊(隊長太田1等空佐)に対する本会からの慰問・激励を担当しました。緊急援助隊は10月3日夜に急遽出発したため、事前の慰問・激励ができず、18日の追送品輸送に合わせ激励品を贈呈しました。



家族会からの激励品に喜ぶ派遣隊員

(2) 地域協議会

ア 四国地域協議会(徳島県担当)

10月10日(水)、平成30年度の四国地域協議会が徳島市(徳島グランヴィリオホテル)にて行われ、本部から宗像副会長及び櫻木地域担当委員が出席しました。会議では、「募集協力に関する地本支援の在り方」と「各県における家族会活性化の現状と今後の施策」の2つのテーマについて、各県の家族会の現状や施策等について活発な意見交換が行われました。その後、小和瀬第14旅団長による防衛講話、懇親会が行われました。



三好地域協議会長の挨拶

イ 東北地域協議会(岩手県担当)

10月11日(木)、東北地域協議会が盛岡市(大観荘)にて開催され、本部から渡邊地域担当委員が参加しました。会議では、「募集協力に関する地本支援の在り方」と「各県における家族会活性化の現状と今後の施策」について各県会長から発表がありました。募集への地本支援については、つなぎ広報における入隊希望者のご両親、特に母親への説得(不安解消)に女性会員が協力すると説得力があるとの意見が多くを占めました。



對馬地域協議会長の挨拶

ウ 東海・北陸地域協議会(三重県担当)

10月16日(火)～17日(水)の間、東海・北陸地域協議会が、鳥羽市(鳥羽シーサイドホテル)にて開催され、本部から宗像副会長及び古賀地域担当理事が参加しました。会議では、「家族会の現状における問題点」をテーマに各県会長による熱のこもった発表・質疑が行われました。各県とも会員数の減少が大きな問題と

認識、この対策の一つとして他県で入隊した隊員の情報提供を訴えました。（後日、宗像副会長が陸幕募集・援護課と調整し、情報提供可能との回答を得ましたので、各県には別途連絡します。）また懇親の場では、三重県家族会地区会で作成したオリジナルTシャツが披露され、会の活性化につなげたいと意気込む女性部の活躍の紹介がありました。



大野木地域協議会長の挨拶



オリジナルTシャツで活性化

エ 中国地域協議会（岡山市担当）

10月17日（水）～18日（木）の間、中国地域協議会が岡山市（アークホテル岡山）にて開催され、本部から小松地域担当委員が参加しました。会議では、「募集協力に関する地本支援の在り方」と「各県における家族会活性化の現状と今後の施策」について各県会長から発表がありました。特に県の「ゆるキャラ」や本会のビブス・帽子を活用した募集・広報の創意工夫及び女性部交流会による会の活性化等の紹介がありました。その後、元中方総監の角南俊彦氏を迎えての講演会が行われました。懇親会には、井筒西空司令官、山根13旅団長、大久保呉総監部管理部長及び各地本長等にご参加いただき終始和やかに意見交換が行われました。



福谷地域協議会長の挨拶

オ 南関東地域協議会（東京都担当）

10月25日（木）、南関東地域協議会が練馬駐屯地にて開催され、本部から森山地域担当委員が参加しました。会議では、「募集協力に関する地本支援の在り方」と「各県における家族会活性化の現状と今後の施策」について各県会長から発表がありました。特に募集協力支援について、友好団体等からの入隊者情報の獲得及びデイフェンスワールドの「家族の声」を活用した入隊希望者の



両親への説得（不安解消）が重要との意見がありました。その後、森山地域担当委員（前東部方面総監）が「自衛隊の人的基盤」と題して講演を行いました。懇親会には高田東部方面総監、竹本第1師団長及び各地本長等にご参加いただき、終始和やかに意見交換が行われました。